

卓球

40周年記念に寄せて



以前より卓球に愛着をもつメンバーはありましたがそれぞれに部活動を通して卓球競技に専念していました。

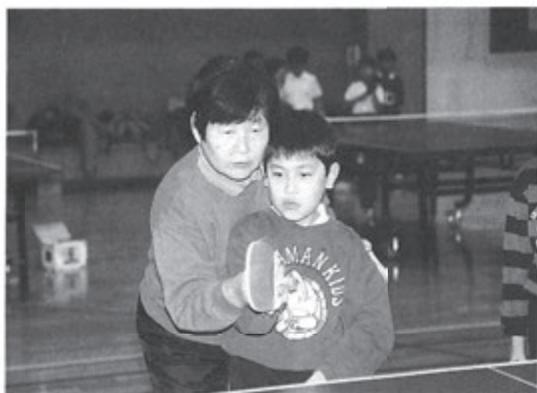
市制発足と時を同じくして体育協会が設立されるにあたり、同好の志が寄りあって卓球協会を結成いたしました。

当時はささやかな大会を開催しておりました。口伝えの呼かけをしておいて、大会当日の申し込みも受付し急いで組合わせをしてから開催するといった誠にローカルな模様もありました。旧三木高等学校の体育館（現三木市民体育館）を会場に使用させていただきましたが、人家も少なく大会が日暮れになると帰宅される方の心配までしていたのを懐かしく思い出します。昭和43年あたりより協会役員補充に努力し、建設的に進める基盤が充実いたしました。

40年後半に市教育委員会主催の婦人卓球教室が開催され緑が丘・自由が丘卓球クラブの母体となりました。52年に勤労者体育センターが新設となり、三木卓球クラブ（三卓クラブ）が発足して土曜日の開放教室と三卓ジュニア（小学生卓球教室）が定着しました。その甲斐あってカデット・ジュニア部門で成果が顕著に現れています。

東播7市親善大会といって男女混合での市対抗戦も39回を迎え、市民大会は64回を数え

ました。現在の大会は春秋の市民大会・9月のランク別大会・2月のランキング選手権・少年スポーツ大会・中学生大会（近隣中学を含む）と多彩になりました。なお行事としてはスポーツ振興基金による強化練習会・指導者講習会・ジュニア強化練習会を実施しています。



▲平成7年三木コミュニティスポーツセンターにて

特にスポーツ振興基金により61年の羅武漢・王会元、62年の謝春英・陳莉莉（中国）といった世界のトッププレーヤーを迎えての指導者講習会は圧巻でした。基金提供に深甚の感謝を申し上げます。

現在は競技人口約600名、役員20名という大家族になりました。

本当に息の合った温かい雰囲気運営されております。

さてバブルの崩壊以後わずかずつではあれ確かにスポーツ熱は後退していると感じます。

経済の不透明さが影響しているものと考えられます。

そういった中、世界レベルの広島アジア大会において小山ちれ(池田銀行)が陳静(台湾)ソウル五輪優勝・喬紅(中国)1989年世界選手権優勝・鄧亞萍(中国)バルセロナ五輪と1991年世界選手権優勝者を撃破して日本に1986年バンコク大会以来の女子シングルス優勝をもたらしました。本当に大きな意義をもつ優勝で、また新たな希望をあたえてもら

いました。紙一重の勝敗こそスポーツの醍醐味であり栄光だと思います。

三木市は兵庫県内7地区のうち、東播地区の中心に位置しており将来はさらに重要な立場を担うことになると考えられます。当卓球協会の今後の課題として新体育館の完成をかんがみ、さらにジュニアの強化と社会体育の発展に寄与できるよう邁進していきたいものと思っています。

(文・寺本興道)



▲昭和61年卓球教室



▲平成6年青山公民館にて

会員のひろば

愛ちゃんに思う

卓球協会 武庫 富美子

ここ数ヶ月、「天才卓球少女愛ちゃん」をテレビで観るたびに、とかく卓球はクライだの、ダサイだのと、言われている中で、同じ卓球を愛する者にとって、卓球が話題になることを、とても嬉しく思っています。

9月10日、11日の2日間、姫路で行われた全国大会の様子がワイドショーで放映されると、あわててビデオに納めるありさまです。

愛ちゃんは、フォームも他のどの選手よりもきれいだし、サーブを出す時のラケットの握り方なども本格的です。もちろんパンビの部で愛ちゃんが優勝したことは、皆様ご存知のとおりです。

三木の少年卓球教室からも、小学2年生以下の愛ちゃんと同じパンビの部と、小学5・6年のホープスの部に、各1名ずつの選手が出場権を勝ち得て参加しています。このことは、小学生の卓球教室を指導している私たちにとってとてもうれしく励みになることです。

いつも小さい子供達に卓球の楽しみを教え、指導することのむつかしさを痛感している私

たちにとって、愛ちゃんを始め、出場選手があそこまで上達するには、本人達の努力と共に、指導者の指導力と包容力がどんなに凄いものか、どんなに辛抱のいったことか、想像すらつきません。

愛ちゃんが将来、日本を代表する選手に成長することを楽しみにすると共に、第2の愛ちゃんを目指す全国の子供達がたくさん出てくれることと、三木の少年卓球教室からも、そうした選手が出ることを願って、日々の練習、指導に励みたいと思います。



私の人生、体育人生

陸上競技協会 池町 耕一

40周年記念誌に掲載を許され誠に光栄です。体協・体指・陸協を通じて多くの人に支えられ、「私の人生は体育人生」とも言える程年毎にいい思い出を重ねることができました。

お世話させていただくようになったのは、